

南京都病院ニュース

2022 新年号
No.65

National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital News



新年のご挨拶

院長 坪井 知正

新年あけましておめでとうございます。

一昨年より新型コロナウイルス感染症が繰り返しアウトブレイクし、多くの感染者と犠牲者を生み出しました。挨拶文を記載している時点では第5波が終息し新規感染者が激減しています。しかし、ワクチンが先行している欧米で、再び感染が拡大しています。接種後6月間程度たちワクチンの効果が減弱したこととマスク・手洗・ソーシャルディスタンスの速すぎる解除が関連している可能性があります。さらに、11月末には新たな変異株であるオミクロン株が出現し、世界を震撼させています。

私は、新型コロナウイルス感染が世界的に広がり始めたころから、カミュの「ペスト」を読んでいます。もともと難解なのか訳が稚拙なのかどちらとも言えませんが（本当はちっとも面白くないためですが）、極めてゆっくり読み進めており、既に1年半が経過しています。ペストという制御不能な感染症に直面した時の人々の感情や思考および行動が、新型コロナウイルス感染症に翻弄されている現代人のそれと極めて似ていることが良く分かります。それと同時に、どのような感染症も、有効な治療のあるなしに関わらず、いずれは日常の中に溶け込んで消えていくのであろうという希望を感じます。新型コロナウイルスは繰り返し変異するため油断はできませんが、今後は、1年に2回ほどのワクチン接種と有効な薬剤の登場でほぼ制御可能になるものと思います。節度のある生活が必須とはいえ、今年の終わりまでには、私が「ペスト」を読み終えるころまでには、人々の生活がかなり自由なものになるのではないかと期待しています。

南京都病院は慢性期の病院で、専門的な医療と丁寧なケアを信条としています。呼吸器センター・小児科・脳神経内科が中心に診療を行っていますが、各科とも呼吸ケアが重要な要素で、「日本の呼吸ケアのトップランナーをめざす」が共通の合い言葉となっています。より高度で親切で丁寧な呼吸ケアを実現するためには、医療者と患者さんが近い距離で接する必要があります。新型コロナウイルスの感染拡大により、南京都病院の得意とする医療が制限され、一部は機能不全に陥っています。ただし、あと1年もすれば、以前に近い環境が戻ってくると思いますので、その日に備えて、様々な医療システムの構築を急ぎたいと考えています。

その一つとして、「呼吸器疾患と神経難病のための呼吸ケアセンター」の設立を急いでいます。現在、日本では、様々な呼吸ケアを実践できる施設（病院）が不足しており、必要な医療が受けられない患者さんがたくさんおられます。そうした全国の患者さんに南京都病院まで転院いただき、呼吸管理とリハビリを導入したうえで元の施設（病院）に帰っていただく予定です。もう一つの取り組みは、患者さんやご家族と相談しながら、一般医療と緩和医療のバランスが取れた終末期ケアの実現です。そのためのチームを立ち上げて具体的な方策の検討に入っています。

まだまだ、重苦しく窮屈な日々が続くと思いますが、もう少しの辛抱で、安心できる自由に満ちた日常が必ず戻ってくると思います（私自身は確信しています）。その日まで、ともに生き延びていけたらと祈念しております。

南京都病院@LINE始めました!



経営企画室長 宮澤 純一

この原稿を記載しております令和3年11月は、夏場の第5波が収まり、やや小康状態ですが、引き続き感染のリスクが残っている状態です。昨年度は、健康教室などの市民の皆様向けのイベントや開業医の先生向けの研修会もほとんどが実施できませんでした。直接お会いする機会が減少する中で何かしら病院の情報をお届けする方法がないか院内で検討を進め、この度「LINE」を用いた広報活動を始めることとなりました。

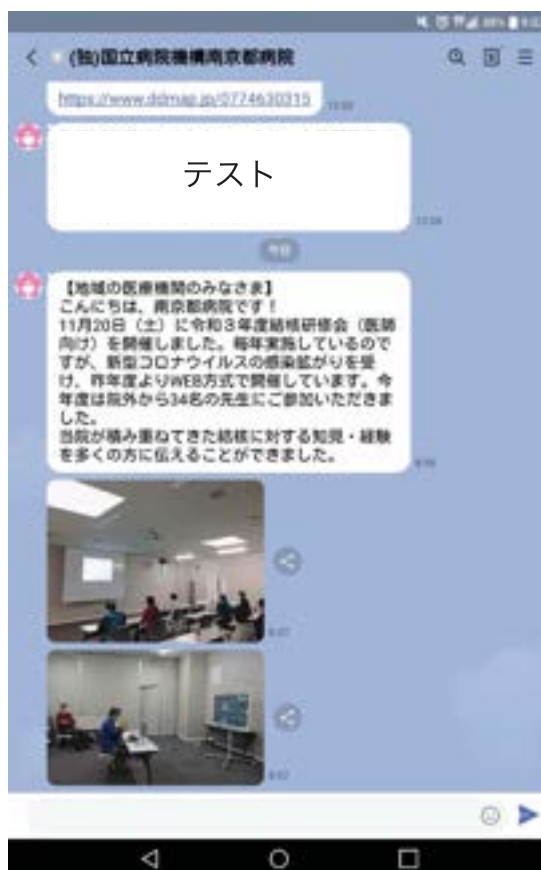
地域の皆様、開業医の皆様にご来院の情報（診療内容、病棟のイベントの様子、講演会情報、採用情報ほか）を定期的に提供してまいりますので、ぜひ南京都病院の「お友だち」になってください！初めての取り組みですので、手探りのなか始めさせていただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。

OLINE 登録方法

LINEの『友だち追加』から

① I D 検索 → @761jrnss

② Q R コード → 



研修実施報告:第2回在宅医療従事者向け研修 ～ALS等の神経難病の呼吸不全について～

経営企画室長 宮澤 純一

今年度の京都府「在宅医療サポート病院支援事業」を当院が実施することになり、地域の在宅医療従事者向け研修を計6回計画しています。当院が日々の診療の中で積み重ねてきた経験・知見を広くお伝えしたいと思っております。今回の研修はその2回目でテーマを「ALS等の神経難病の呼吸不全について」とし、以下の講師陣で講演を行いました。

13:00～13:30	脳神経内科医長	たけうち ひろき 竹内 啓喜	「筋萎縮性側索硬化症の概要」
13:30～14:00	呼吸器科医師	ちはら ゆういち 荏原 雄一	「神経筋疾患における呼吸管理」
14:00～14:30	看護師	ふじい としえ 藤井 利江	「入院から退院に向けた退院調整」
14:30～15:00	主任栄養士	やまじ さとこ 山地 聡子	「食の楽しみを含めた栄養サポートについて」
15:00～15:30	看護師長	かわばた なりさ 川端 成佐	「ALS患者のACPの実際」

参加者はWEB合計で80名（院外36名、職員44名）と多くの方にご参加いただきました。当院もお世話になっています地域の訪問看護ステーションの方のご参加もありました。参加者の方からは事後アンケートで「疾患について詳しく知ることができた」「栄養サポート、ACPなど当事業所でも色々と考えている時に参加させて頂けて良かった」などの意見をいただきました。また、WEB開催が多くなってきましたが、「遠方での開催でも参加でき、また聞き取りやすく、参加しやすくていい」と前向きな意見を多く頂いており、今後も引き続きWEB研修の需要が一定程度はあるものと思っております。

運営に当たっては、講演中にチャットで頂いた質問をスムーズに確認できなかったことやその他操作音などで一部ご迷惑をおかけしましたが、全体としては概ねスムーズに開催できたのではないかと思います。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございます。上述のとおり今年度の研修予定はまだございますので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。HPやチラシで案内いたします。お問い合わせは、経営企画室か地域医療連携室まで連絡下さい。



地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

おうちと同じ雰囲気です

さかい小児科クリニック

小児科

アレルギー科

院長 阪井 久広 先生



私たち「さかい小児科クリニック」は2015年7月に近鉄、久津川駅東へ約徒歩10分のところに開業いたしました。

「おうちと同じ雰囲気です」をモットーに日々の診療をおこなっています。地域のお子達の笑顔が絶えないクリニックとするのが私の目標です。

少子高齢化が話題になる最近の日本ですが、未来の日本を背負うのは子供たちであり、日々の診療を通じて子供たちの笑顔をひきだすことが日本の未来に貢献することと考えています。

そのような壮大な理想を掲げ、開業いたしました。実情は肩肘の張らないよくある「普通」の小児科クリニックです。気軽に受診できる地域の「小児科クリニック」であり続けることが地域医療に貢献することであり、安心した子育てにつながると考えています。

風邪などの日常みられる病気の診療から予防接種の相談に至るまでみなさまのお役にたてるように頑張ります。

■ 京都府城陽市 平川山道46-25-2
■ TEL 0774-66-1252

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前9:00~12:00	●	●	／	●	●	●	／
午後15:00~16:00	▲	▲	／	▲	▲	／	／
午後17:00~20:00	●	●	●	●	●	／	／

※月・火・木・金
午後3時~4時 予防接種
予約専門外来



たのしく きらくに なごやかに

和楽訪問看護ステーション

訪問看護



TEL.0774-46-8363

令和3年9月に京田辺市東鍵田（田辺高校近く）に開設した「和楽訪問看護ステーション」です。

「たのしく、きらくに、なごやかに」という思いで名前を付けました。私は貴院附属の看護学校卒業後、約20年間病棟看護師として勤務していました。約2年前よりコロナによりほぼ面会ができない状況が続き、看護師として何かできないかと思い、在宅でのお看取りを中心に子供から高齢者の方まで安心して過ごせるお手伝いがしたいと開設いたしました。スタッフは看護師3人と、まだまだ小さなステーションですが、24時間緊急対応、土日祝を含め365日定期訪問を行っています。他職種との連携を大切に、地域の方々により良い介護、医療を受けて頂き、その方らしい生活が送れるように看護していきたいと思っております。

また、地域に「元気なうちから ACP（人生会議）」を広めるための活動を行っています。民生委員の方から、地域の公民館で話をしてほしいとご依頼を頂く事が出来ました。ステーション内にも在宅看取り、在宅医療、ACPの本を揃え、地域の方々にも読みに来て頂いたり、相談できるスペースを設けています。

気軽に相談できる、地域密着型のステーションを目指しています。今後ともよろしくお願いたします。

■ 京都府京田辺市東鍵田21-1
■ TEL 0774-46-8363
■ FAX 0774-46-8672
■ 営業日：月曜日～日曜日（祝日含む）
365日営業
24時間365日対応

■ 訪問エリア
京田辺市、宇治田原町、城陽市、精華町
※上記以外の地域もご相談ください。

■ e-mail
warakuhoumon@gmail.com



西病棟2階の紹介

看護師長 都市 美晴

西病棟2階には重度の肢体不自由と知的障害をあわせもった重症心身障害児（者）の患者さんが入院されています。先天性異常のある患者さん、出生時に異常を生じた患者さん、脳炎や事故の後遺症による中途障害がある患者さんなど様々です。また在宅での医療的ケアを必要とされる患者さんの短期入所や医療入院も積極的に受け入れ、ご家族の思いにそえるよう在宅と同様のケアを継続して行っています。

重症心身障害児（者）の患者さんは、痙攣などによって体幹の変形があると身体に影響を受けます。椎体がねじれ、胸郭が変形することで側弯になると呼吸障害を起こします。また、消化器の通過障害や消化物の停滞等によって呼吸は努力様となり、腹圧がかかると胃食道逆流現象の増悪から誤嚥にもつながります。そのため日々の呼吸管理はとても重要であり、リラックスできる安定したポジショニングで排痰効果を高め、様々な臓器や器官の関連性を考えたケアで合併症を予防し、重症化を防止しています。

また、四肢の変形・拘縮があると脱臼や骨折のリスクが高いため、移動時や体位変換、オムツ交換等のケア時には介助者2名以上で愛護的に行うことを徹底しています。

患者さんとのコミュニケーションに関しても倫理的配慮を大切にし、発達年齢と実年齢を考えて対象の人権を尊重した声かけや関わりをしています。

長期入院されている患者さんにとって、病院であっても彩りのある生活を過ごせるようにすることが大切です。人生の中で大きなライフイベントである成人式や七五三などの行事を、療育指導室職員と共に家族の思いをくみ取りながら行ってきました。しかし、去年は新型コロナウイルスの影響で、外出や面会制限になり患者さんにご家族にとって辛い日々が続くなかでも、2021年11月からはデイルームでの面会が可能になり、患者さんにご家族に笑顔が戻ってきました。ご家族が来院し、患者さんに声をかけながらスキンシップを図ることが、患者さんにご家族との絆を深めるために重要であることを再認識しました。

入院されている患者さんは全介助で日常生活を送っています。だからこそ、私たちの看護力が必要になります。ケア後、患者さんに笑顔が見られ喜ばれる声を聞くと、やりがいや達成感を感じることの多い職場だと思います。

今後も患者さんが安定した健康状態で楽しい入院生活が継続して送れるように、医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学技士・児童指導員・保育士等と協力しながら、療養介助専門員・看護師がチーム一丸となって、多職種連携で取り組んでいきます。

日々の療育活動
『くす玉割り』



月間行事
『誕生日会』



医師紹介

小児科 医師 印南 裕貴 (いんなみ ゆうき)



お世話になっております。小児科の印南裕貴です。
 医師としては5年目の後半となるこの時期に南京都病院に着任いたしました。
 以前は天理よろづ相談所病院におりまして、現在も天理在住のため電車で通勤しています。
 趣味は読書なのですが、前の病院ではゆっくり本を読む余裕がなかなかなかったので、行き帰りの電車やバスの中で本を読むのが日々の楽しみになっています。
 短い間ではございますが、この病院での勤務を通じて、多くのことを学び取りたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

呼吸器内科 専攻医 武田 淳志 (たけだ あつし)



初めまして、医師4年目の武田淳志と申します。京都大学を卒業後、天理よろづ相談所病院で初期研修を行い、疾患の多様性に魅力を感じ、呼吸器内科を専攻しました。天理よろづ相談所で後期研修中ではありますが、坪井先生のご高配もあり2021年10月より半年間南京都病院で研修させていただくことになりました。短い期間ではありますが、慢性呼吸不全の管理や結核治療など、今まで経験できなかった分野も多く、指導いただく先生方の知識や経験をできる限り吸収するべく励む所存です。
 まだまだ若輩者で至らぬ面も多いと存じますがご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。

交通のご案内

国立病院機構
南京都病院

- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR 学研都市線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR 奈良線 山城青谷から 徒歩 20分

*...各駅より
送迎車あり

診療科のご案内

● 内科	● 脳神経内科	● 呼吸器内科
● 消化器内科	● 循環器内科	● 小児科
● 外科	● 整形外科	● 呼吸器外科
● 皮膚科 (入院のみ)	● リハビリテーション科	● 放射線科
● 心療内科 (入院のみ)	● 歯科 (入院のみ)	

独立行政法人国立病院機構
南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
 TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
 時間外緊急時 0774-52-0642
 URL <https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

地域医療
連携室

電話受付時間の延長について
 平成 30 年 12 月 1 日から、申し込み受付を 19 時まで延長させて頂きました。
 電話受付時間
 8:30 ~ 19:00 月~金 (土・日・祝日休み)
 TEL: 0774-52-0191 (直通)
 0774-52-0065 (代表)
 FAX: 0774-58-0270
 予約状況を確認し、その場で受診日時をお返事いたします。
 なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますので、
 ご了承下さい。
 E-mail : 407-renkei@mail.hosp.go.jp